

～会計を通じて人に幸せを～

# Hirai's レビュー

2013年8月号 (No. 56)

**平井会計事務所 税理士 平井満広**  
 〒108-0023 東京都港区芝浦4-22-1  
 芝浦アイランドエアタワー1704号  
 電話:03-3452-7082 Fax :03-6303-3350  
 Mail:m\_hirai@hirai-ao.com  
 URL:http://www.hirai-ao.com/

## 意外と興が深い？ 利益の計算の仕方

「利益」は誰もが知っている言葉ですが、実際に利益の計算をすると、難しく感じる方が意外と多いようです。

### ◆金額が合わない？

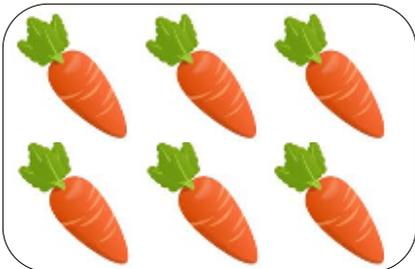
ヒロシさんは夫婦で八百屋を営んでいます。ある晩、ヒロシさんは茶の間で帳簿をつけながら「おかしいな」とつぶやいていました。横でテレビを見ていた奥さんが不機嫌そうに声をかけます。



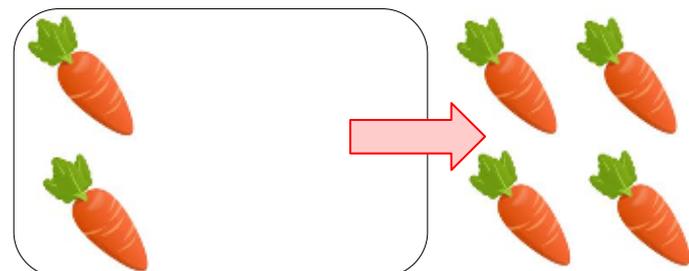
「うるさいわね。さっきからどうしたの」  
「先月の売上と仕入を集計してたんだけど、利益の金額が合わない気がしてなあ」  
「そそかしいから計算ミスでもしたんじゃないの？」  
「オレもそう思って何度も見直したんだけど、やっぱり何か違うんだよなあ」  
「ふーん、そうなの」

イマイチ興味のなさそうな奥さんですが、ヒロシさんは構わずに話を続けます。

「例えば、1本80円の人参を6本購入したとするよ」



「すると仕入の金額はいくらになる？」  
「80円×6本だから480円でしょ。簡単じゃない」  
テレビから目を離さないまま、奥さんが返事をします。  
「そのうち4本を1本150円で売ると売上はいくらだ？」  
「150円×4本で600円。小学生でも分かるわよ」  
テレビに集中したい奥さんはイライラしてきました。



「じゃあ売上から仕入を引いたらいくらになる？」  
「600円-480円で120円でしょ！いい加減にして！」  
堪忍袋の緒が切れた奥さんは大きな声で叫びました。  
「まあまあ、そう怒るなよ。お茶でも飲んで」  
あわてたヒロシさんはお茶を注ぎながらなだめます。  
「・・・アレ、でもおかしいわね」  
一気にお茶を飲み干した奥さんがつぶやきました。  
「人参は1本70円の利益が出るはずよね。4本売れたら280円の利益が出ないといけないのに」  
冷静さを取り戻した奥さんも疑問がわいてきました。  
「そうだろ？ぜんぜん金額が合わないよなあ」  
「差額140円(280円-120円)はどこにいったのかしら」

### ◆差額の正体は

夫婦の会話を参考にして、人参の収支をまとめると以下のようになります。計算は一見、間違いなさそうですがご夫婦は重要な点を見落としています。

(売上)	600円	<150円×4個>	← 一致しない
(仕入)	480円	<80円×6個>	
(差引)	120円		

実は上の表は売上数量と仕入数量が一致していません。「利益」＝「商品が売れた分の儲け」を計算するならば仕入の数量を売上の数量に一致させて“仕入金額を売上原価に修正”する必要があります。人参の事例であれば売上の数量4個に合わせるために、仕入の数量6個から在庫の数量2個を引いて、以下のように4個分の原価を計算すると正しい利益(280円=70円×4個)を算出することができます。

(売上)	600円	<150円×4個>	← 一致する
(仕入)	480円	<80円×6個>	
(在庫)	△160円	<80円×2個>	
(原価)	320円	<80円×4個>	
(利益)	280円	<70円×4個>	

「利益計算の対象は売れた商品だけ」、「売れ残り商品の購入代金は経費にならない」の2つがポイントですね。  
※このお便りは名刺の交換をさせて頂いた方にお送りさせて頂いております。ご不要の場合はご連絡ください。

☆ ブログもご覧いただけたら幸いです。(平日毎日更新)⇒[http://blog.goo.ne.jp/hirai\\_tax/](http://blog.goo.ne.jp/hirai_tax/)